JR東海労働組合 名古屋地方本部

業務ニュース名古屋

2025年9月19日 NO.433

発行責任者 松山 文成

編 集 業務部

申第2号「ワンマン列車拡大による車掌要員減 に関する申し入れ」について議論を行う!

名古屋地本は、9月16日、申第2号「ワンマン列車拡大による車掌要員減に関する申し入れ」 について業務委員会を行い、現場社員の不安解消に向け会社と議論を行ってきました。以下、回答と主なやりとりです。

1. 名古屋駅駅輸送体制見直しが12月に行われようとしている。更に来春ダイヤ改正からワンマン列車拡大と矢継ぎ早に施策を行うのは旅客、社員共に混乱することが想定される。施策を1年先送りとし組合員への説明をすること。

【回答】そのような考えはない。必要な訓練や勉強会は引き続き実施していく。

〈主なやりとり〉

組合:施策が矢継ぎ早すぎる。10月からFINDと言う忘れ物に関するアプリが使用開始と説明された。更には出先からの点呼も変更される。管理者もついていけていない。

会社:これから訓練していく。

組合:大雨等異常時対応はホームに駅社員が居なくて大丈夫なのか。

会社:状況を見て社員を配置する。

組合:一部線区でなく全線がそうなった場合もできるのか。

会社: 非現業社員含め対応する。

組合:通常時でもお客様はホームで駅係員に尋ねられないことになる。サービス低下だ。

組合:入換車両起動時の安全は誰が担保するのか。

会社:入換運転士に確認義務は無い。責任は問わない。

組合:責任問わないことを確認する。

2. ホームドアが整備されないまま3両編成以上のワンマン列車運行はやめること。

【回答】そのような考えはない。

〈主なやりとり〉

組合:ワンマン運転の定義は閑散線区での運行だった。反故にされている。他会社でできている からと言うのは理由にならない。

会社:勉強している。可能である。

組合:AIカメラにも死角はあるはずだ。

会社:視察している。

3. 地震・津波対応、車内での凶悪犯罪、急病人対応等、不測の事態への対応方について 明らかにすること。

【回答】対応方についてはワンマン列車拡大によって変更されるものではない。

〈主なやりとり〉

組合:4両編成で多客時は事象があった場合移動も困難である。

会社:2両編成でも多客なら同じである。

組合:JR西日本は津波避難は片側ドア全開扉と聞いている。東海会社は違う。乗務員に責任がある。4両編成を運転士一人では困難だ。

会社:そういった部分は今後の検討課題である。

4. 過去の業務委員会で会社は、3両編成以上のワンマン列車のAIカメラが故障した場合は車掌乗務列車にするとしている。計画通り△80を行って急遽の乗務ができる車掌が確保できるのか明らかにすること。

【回答】故障した場合は、運転士が車掌と同様にホーム上に降りてホーム上の安全確認を実施する応急措置をとり可能な箇所で車両交換や列車監視要員の手配等を実施する。

〈主なやりとり〉

組合:AIカメラは保安装置なのか支援装置なのか。

会社:支援装置である。

組合:過去の業務委員会でAIカメラ故障時は車掌乗務と聞いていた。車掌乗務無しでも運行する ということか。

会社:車掌が乗務となる場合もあると言うことです。

5. 車掌△80の社員運用を明らかにすること。

【回答】具体的な計画はお知らせできないが、該当運輸区乗務員が他運輸区へ異動するだけで

なく他運輸区乗務員も含めて駅への異動をする等、様々なケースも含めて検討している。 〈主なやりとり〉

組合:現在、多くの運輸区で車掌の要員が逼迫している状況は把握しているのか。

会社:把握している。

組合:3月に大幅減だから放置するのか。

会社:そのようなことはない。

組合:最近、名古屋運輸区車掌がダイ改以降「南紀」多気以南の新宮まで乗務範囲が変更される と噂されている。以前、災害時には地理に詳しい地元の車掌が乗務している方が良いとの理 由で乗務範囲が大幅に変更された。その理由は無くなったのか。

会社:その理由は初めて聞いた。知らない。

組合:回答で様々なケースとしているが様々とはなにか。

会社: 車掌から他運輸区車掌・車掌から駅・車掌から免許がある方は運転士等である。

組合:等とは出向もあるのか。

会社:お知らせできない。

組合:それが不安を煽っている。地元に残れなければ退職を考えるとの声も聞いている。

6. 車掌要員減は運転士養成にも影響がでる。大幅な要員減はやめること。

【回答】そのような考えはない。

〈主なやりとり〉

組合:車掌養成は今後も計画するのか。

会社:これからも車掌養成はしていく。

組合:業務改革は将来の人材確保が困難からということだった。会社施策に嫌気がさして退職者がでたら本末転倒である。効率化だけではダメだ。安心して働ける環境を今後も議論して創り出していく。

以上